

令和6年度第10回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和7年1月17日（金）午後4時00分～午後5時45分
2. 会 場 士別市教育委員会 教育長室
3. 出席者 教育長 泉 山 浩 幸 生涯学習部長 三 上 正 洋
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 岡 田 詔 彦
委 員 加 藤 洋 之 社会教育課長 千 葉 真奈美
委 員 多 田 千 鶴 合宿の里・スポーツ推進課長 徳 竹 貴 之
(欠席 山 田 敦 久 委員)

4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

1 教育長挨拶

【各種イベント等について写真などを用いて説明】

- ・文化協会で表彰を行い、前回会議でお諮りした阿達信子さんが受賞。
- ・12月7日に松井エイコさんの紙芝居があった。Youtube 配信もあるのでご覧いただきたい。
- ・総合計画の基礎資料としてアンケートを実施。地域の愛着度が68%と高かった。来年度においてもウェルビーイングの視点を大切に教育行政執行方針を作成する。
- ・道内179市町村の満足度ランキングで士別市が昨年と同じ8位。
- ・公共施設マネジメントに関わって、11月15日市長が記者会見。施設の統廃合を進めていくうえで地域住民との合意形成が大事。教育委員会の所管施設においても協議を進める。
- ・12月下旬に部活動の地域移行に関わって協議会を立ち上げた。これまでの「地域移行」から「地域展開」として、教育委員会だけでなく市長部局、地域住民含めて進めていく。8年度から可能な部活動から地域展開していきたい。
- ・来年度の教育行政執行方針は、道や管内の柱に準じて作成中。2月に確認いただく。
- ・そのほか、朝日ノルディックスキー大会、チャレンジ寺子屋、教職員研修会、新年交礼会、出初式、雪まつり安全祈願祭、青年会議所新年会、みよし市派遣事業、はたちを祝う会などについて情報提供。

2 議事について

○泉山教育長 進行

議案第32号 士別市就学援助支給要綱の一部を改正する要綱について、説明を求める。

○岡田課長

就学援助支給要綱は、学校教育法の定めにより市町村が実施する就学援助制度について支給の大綱を定めているものである。これまでは学校を通じて申請し、認定通知を交付していた。学校の手間など負担感があることのほか、要綱上に認定要件の具体的な定めが明記されていないという不都合があったので、今回見直しとしている。

見直しの概要については、認定要件を明記すること、学校を介さずに申請、認定通知をやり取りするということで、様式の変更のほか、申請先を教育委員会にすること、オンライン申請による受付も可能にすることなどの改正を行うものである。

○泉山教育長

今まで学校を介して書類のやりとりをしていたものを教育委員会の窓口へ一本化するもの。迅速に対応できるというメリットから変更したいというものである。

これについて、いかがか。

○加藤委員

受ける人たちにとって要件などの変更がないのであれば問題ない。

○馬場職務代理者

その方がメリットがある、スムーズに業務がなされるのであればいいと思う。

○泉山教育長

学校の負担軽減の点では、特に事務職員の業務の軽減となる。

これについては、よろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第33号 令和7年度士別市教育委員会予算(案)について、説明を求める。

○岡田課長

令和7年度の予算案について、主なものに絞って説明する。

(資料を基に、岡田課長、千葉課長、徳竹課長、三上部長から概要説明)

○泉山教育長

質問や不明な点があれば伺いたい。

○加藤委員

【情報通信教育推進事業費】ICT端末について、年数を考えると更新は必要だと思うが、更新後の端末はどのようなものになるのか。

○三上部長

学習用のICT端末の更新については、児童生徒用を予定しており、指導者用については補助対象外であるため、更新が難しい状況になっている。5年経過する中でICT端末が壊れたりしている状況で、教育委員会にも代替端末はあったが、現在は違う学校から持ってくるというような状況になっている。今回は指導者の端末は購入は予定しておらず、端末の中でまだ使えるものについては指導者の方に回していくということを考えている。

○加藤委員

更新後の端末をそのまま処分するのではなく、パーツなどを再利用するように、リサイクルを含めて考えられているのか。

○泉山教育長

利活用できるものは教師用として活用するということだが、まだ使えるのに廃棄せざるを得ないものが出てくこともある。

○三上部長

今後、学校の中でも持ち帰りというのが日常的になってくと思うが、故障率が上がることが考えられるので、ストックとしても残していくことは考えている。

○加藤委員

【特別支援教育就学事業費】支援員の給与については、「年収の壁」が問題になっている。時給を上げていくことが必要だが、働き方に影響はないのか。

○三上部長

制度が変われば勤務する時間にも影響はあるかもしれないが、現行制度の中ではそれは想定していない。支援員に限らず市の会計年度職員全体に関わってくる。

○馬場職務代理者

【市民総合文化祭事業費】芸能発表などは大ホールで行っているが、今後、大ホールを使わなくなった場合はどこでやるのかという声がある。小ホールでやることになるのか。

○千葉課長

今年度の文化祭では、大ホールが満員にはならず、3分の2くらいだった。人口減少で見に来る方も少なくなるが、例えば、今後サンライズホールで行うとなった場合、バスを出す必要があるかなども考えていかなければならない。

○馬場職務代理者

大ホールがなくなったら、お年寄りは見に行けないという声があつて、例えば小ホールで午前と午後で出演者を分けて実施したら高齢者の方も見に行けるのではないか。

○千葉課長

そのような工夫も必要だと思う。各地区でも出演する団体が少なく、1時間くらいで終わってしまうところもある。今後は各地区についても検討が必要になる。

○馬場職務代理者

【不登校・いじめ問題等対策事業】先日、発達障害をもった子どもに密着しているテレビ番組で、学校内に土別の「ウィズ」のような教室があつて、そこに行っているという放送があつた。そのような場所を各学校に設置しようとする流れなのか。

○三上部長

土別市は「ウィズ」があり充実している。国からは学校に「ウィズ」のような役割のものを作ることが示されており、土別中学校か土別南中学校のどちらかで検討しているが、モデル校としてウィズの職員を派遣することを考えている。

○加藤委員

【陸上競技場大規模改修事業】全天候型になったのはいつか。

○徳竹課長

平成4年に全天候型になっている。

○加藤委員

下地は舗装なのか。コンクリートの上に舗装しているのか。

○徳竹課長

舗装の改修は一切行っておらず、上面のゴムだけを劣化により張り替えきた。紫外線の影響のほか、北海道は半年が雪の下になるので本州に比べるとつ方だと聞いている。

部活動の先生や陸協の人と話をした結果、棒高跳びのところを廃止する考えでいる。それによって「3種」から「4種ライト」に格下げにはなるが公認は受けられるので、これで行こうと考えている。

○泉山教育長

令和7年度予算についてはよろしいか。

(全員了承)

3 その他

◇令和6年度生活リズム実態調査の分析結果について

千葉課長説明

◇第3期土別市スポーツ推進計画策定について

徳竹課長説明

◇土別市児童生徒スポーツ・文化活動地域展開検討協議会について

岡田課長説明

◇土別市小中学校適正配置計画について

岡田課長説明

◇当面する今後の日程について

三上部長説明

午後5時45分、会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署 名 者

泉山 浩幸

会議録調整者

岡田 詔彦